

解 答	52. (A)	53. (B)	54. (A)	55. (B)	56. (D)
-----	---------	---------	---------	---------	---------

52. 「ビルは今頃名古屋に到着しているはずです。彼は6時に東京発ののぞみ号に乗りましたから」

【誤】(A)ought to arrive→【正】ought to have arriveまたはshould have arrive
 ▶ oughtはto doとともに用いる助動詞でought to arriveは「到着するべきだ」という意味になります。第2文の内容から第1文では、過去のことを現在から推量していると考えられるので、ought to have arriveとすれば「到着しているはずです」という意味を表すことができます。

【語句】

□ **should[ought to] have done** 「(当然)～した[している]はずだ [過去のことに関する推量] /～すべきだったのに [過去の行為に対する非難・後悔]」

The game **should[ought to] have started** at noon. [過去のことに関する推量]
 (正午にはその試合は始まっていたはずだ)

The clerk **ought to[should] have given** you a receipt. [過去の行為に対する非難]
 (その店員はあなたにレシートを渡すべきだったのに)

□ **ought to do** 「～のはずだ、きっと～だ [可能性・推量] /～すべきだ [義務・当然の行動]」 (=should do)

Our guests **ought to be** here in a few minutes. [可能性・推量]
 (お客様は数分後にはお越しになるはずです)

We **ought to save** energy. [義務・当然の行動]
 (エネルギーを節約すべきだ)

□ **by now** 「今頃には、すでに」

□ **depart from** ~ 「(人・列車・バス・飛行機などが)～から出発する」

The flight **departs from** Tokyo for Seoul at 6:15 p.m.
 (東京発ソウル行きの便は午後6時15分に出発します)

53. 「頻繁にストレスを受ける状況に晒されると、精神的・肉体的に疲労します。可能ならば、短期の休暇を取って仕事から離れるよう努めてください。休みを取ることに罪悪感を感じる必要はありません」

【誤】(B)for a frequent basis→【正】on a frequent basis

▶ 本問はイディオムに関する正しい前置詞を判断させる問題です。on a ~ basis は「～な原則〔基準〕で」というイディオムで、on a frequent basisは「頻繁に」という意味になります。

【語句】

□ **be exposed to** ~ 「～にさらされる」

Workers had **been exposed to** high levels of radiation.
 (作業者たちは高レベルの放射能にさらされていた)

□ **get away** 「(事実・困難などから)逃げる/(仕事・人などから)離れる」

Sorry, I couldn't **get away** from the meeting.
 (ごめん、会議を抜けられなかつたんだ)

□ **feel guilty about** ~ 「～のことで罪の意識がある」

I **feel** really **guilty about** forgetting her birthday again.
 (私はまた彼女の誕生日を忘れて本当に悪かったです)

54. 「この100年間で世界の多くの地域で人類は著しく身長が高くなりました。今や男性・女性ともに平均して12センチ背が伸びています。これらの変化のいくつかは遺伝子によって説明されますが、多くの人々がより良い健康管理と栄養のおかげで背が伸びています」

【誤】(A)has become→【正】have become

- ▶ 本問は正しい主述の関係を判断させる問題です。主語であるpeopleは複数扱いの名詞なので、助動詞もそれに合わせてhas→haveとします。

【語句】

□ **on average** 「平均して、概して」

He earns 300 pounds a week **on average**.

(彼は平均して週に300ポンド稼ぎます)

□ **because of** ~ 「～の理由で、～の原因で」

The game was canceled **because of** heavy rain.

(大雨のため試合は中止された)

□ **healthcare** 「健康管理」

□ **nutrition** 「栄養(成分[物])」

55. A「帰宅したあとどこに鍵を置いたか思い出せないの？」
B「何時間も探しているけど、どこに置いたか分からんんだ」
A「ほんと君は物を置く場所にもっと注意深くなる必要があるね」

【誤】(B)searching them → 【正】searching for them

- ▶ 動詞searchの意味を「探す」とだけ覚えていても、この問題は解けません。他動詞と自動詞の用法をしっかり区別しておきましょう。

■ searchの他動詞と自動詞の用法

【他動詞】 **search A** → A(目的語)になるものは、探す「場所」

The police **searched the house**. (警察は家宅捜索をした)

The police **searched him**.

((凶器を持っていないか)警官は彼をボディーチェックした)

【自動詞】 **search for A** → 前置詞forの目的語になるものは、探す「対象」

The police **searched for the house**. (警察はその家の所在を探した)

The police **searched for him**. (警察は(行方不明の)彼を捜索した)

【語句】

□ **Don't you remember ~ ?** 「～を覚えていませんか？」

□ **don't have any idea ~** 「～がわからない」

□ **need to do** 「～する必要がある」

You **need to** think about this more carefully.

(君はこのことをもっと注意深く考える必要がある)

56. 「私の父は晩年背中の痛みを頻繁に訴えていました。今や私自身が老いつつありますが、私もまた身体の異なる部位に痛みを感じるようになっています」

【誤】(D)to feel painful → 【正】to feel pain

- ▶ 形容詞painful(痛い)は人を主語にして、I am[feel] painfulのように使うことはできません。人を主語にする場合は名詞pain(痛み)を用いて表現します。

- ▶ becomeは進行形にすると「～しつつある」という意味を表しますので、下線部(C)は正しい表現です。

[例] The noise outside **is becoming** louder.

(外の物音が次第に大きくなってきた)

【語句】

□ **used to do** 「(以前は)よく～したものだ」 [過去の習慣]

I **used to** go fishing every Sunday.

(日曜日にはいつも釣りに行ったものだ)

□ **later** 「もっと遅い[後の]/晩年の、後年の」 cf. latest 「最新の、最近の」

in **one's later years** (晩年に)